すぎのこ　「力を合わせて」

１年間を通して，子どもたちの笑顔と共に，成長する姿をたくさん見ることができました。今年度の学習発表は，音読や楽器演奏などの発表をしました。「リコーダーは，トーって言いながら吹くといい音になるよ。」「すぐに楽器が変えられるようにアシスタントをするよ。」と声をかけあって練習をする姿が印象的でした。準備や片づけもみんなで協力してできました。今後も笑顔を絶やさず，いろいろなことにチャレンジしていってほしいと思います。

【トーンチャイム演奏～みんなで心を合わせて～】

１年生　すまいる　～「ぴかぴかいちくみ」をめざして～

元気いっぱい，笑顔いっぱい活動してきた１年生。この１年間で，たくさんのことに挑戦してきました。１月に行った学習発表では，国語で学習した「サラダでげんき」をもとに，１年間の学習の成果をグループごとに発表しました。グループの友達と声をかけ合い，一生懸命に練習に取り組む姿から，子どもたちの成長を感じました。４月からは新しい１年生を温かく迎え，お兄さん，お姉さんとして活躍する姿も楽しみにしています。

【学習発表「サラダでげんき」】

２年生　「成長を感じたコオロギの飼育」

「捕まえた！」畑の草取り中，男の子が興奮して叫びました。僕も私もとコオロギ捕りが始まりました。虫が苦手な子も懸命に追い，初めて虫を捕まえた子も。「教室で飼う！」と早速，図書館でコオロギについて調べ，翌日には，大根や削り節などの餌が用意されました。授業中に虫の音がすると，静かに耳を澄まして…，「鳴き声はリリーンだ！」『虫の声』の歌詞との違いに気づき，震える羽に歓声があがりました。子どもたちにとって興味深い体験は，自ら動き出し，目で見て考え，聞いて感じ音で表すなど，成長を十分に感じる飼育活動になりました。

【コオロギの飼い方や餌について調べ中】

３年生　「Ｓｔｅｐ　ＵＰ」

「学校生活の中で，自分たちで考え協力して行動する場をたくさん取り入れ，自信をもって活動できる３年生になること」を目標に，さまざまな体験・学習活動に取り組んできました。１月の学習発表『成長魂』では，題名，自身の目標を決めることから始め，発表グループごとに練習して，もっとわかりやすく発表するために話し合ったり，台詞をただ覚えるだけでなく，ジェスチャーをつけたりして，聞き手に，より伝わるように工夫することができました。４月からは，成長魂をもって，高学年へ向けて Step up してほしいと思います。

【学習発表『成長魂』オープニング】

令和４年度　教育活動の成果と課題

「学校教育活動に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。この結果をもとに教育活動を見つめ直し，よりよいものとなるように改善していきます。

○選択肢　「そう思う」：４点　　「どちらかといえばそう思う」：３点
「どちらかというとそう思わない」：２点　「そう思わない」：１点

※昨年と比べて高いものをゴシック体で，低いものを下線で表してあります。

【学校評価】
Ａ：十分に達成されている　Ｂ：概ね達成されている　Ｃ：あまり達成されていない

【関係者評価】学校評議員の方にしていただきました。
Ａ：学校の自己評価は適切である　Ｂ：概ね適切である　Ｃ：あまり適切でない

	重点目標		教育アンケート項目	子ども R3	子ども R4	保護者 R3	保護者 R4	教職員 R3	教職員 R4	学校評価 R4	関係者評価 R4
確かな学力の育成	基礎基本の習得	①	子どもたちは宿題や家庭学習にすすんで取り組んでいる。	3.4	3.4	3.0	2.9	3.6	3.4	B	A
		②	子どもたちはおはなしタイムで自分の考えを言うことができる。	3.2	3.4			3.1	3.1		
		③	子どもたちは，読書活動にすすんで取り組んでいる。	3.3	3.3	2.7	2.8	3.1	3.0		
	学ぶ意欲の向上	④	子どもたちはタブレット端末などICTを活用した授業や教育活動を「楽しい」「わかる」と言っている。	3.4	3.4	3.0	3.5	3.3	3.4	A	
		⑤	学校は，体験や見学を取り入れ，地域の教育力を積極的に活用している。			3.5	3.5	3.1	3.4		
豊かな心の育成	温かい学級集団づくり	⑥	子どもたちは楽しく学校に通っている。	3.4	3.5	3.4	3.3	3.4	3.3	A	A
	異年齢集団の充実	⑦	子どもたちは，異学年ともかかわり，協力して活動できる。	3.5	3.6	3.3	3.4	3.0	3.4	A	
	基本的な生活習慣の定着	⑧	子どもたちはあいさつができる。	3.4	3.4	3.1	3.1	2.4	2.6	B	
		⑨	子どもたちはきまりや時間を守り，規則正しい生活をしている。	3.1	3.3	2.9	2.9	2.9	3.1		
		⑩	子どもたちは，そうじを黙って真剣に行うことができる。	3.0	3.2			2.5	2.8		
命を大切にする子どもの育成	道徳教育の充実	⑪	子どもたちは自分や友達，周りの人，生き物の命を大切にしている。	3.8	3.7	3.6	3.6	3.1	3.3	A	A
	危機回避対応能力の向上	⑫	子どもたちは，交通事故，けが，不審者にあわないように気をつけて，生活できる。	3.7	3.7	3.5	3.4	3.3	3.4	B	
		⑬	子どもたちは，火事や地震が起きたとき，どのようにしたらいいか知っている。	3.8	3.8	3.5	3.3	3.3	3.3		
		⑭	学校は，遊具・施設など安全整備が行き届いている。	3.2	3.4	3.3	3.2	2.7	2.6		
		⑮	ゲーム，SNSやメール等の使用について，家族で話し合って決めたルール（使い方や時間）がある。			3.3	3.2				
		⑯	家庭で話し合って決めたゲーム，SNSやメール等の使用のルール（使い方や時間）について，子どもは守っている。	3.3	3.4	2.7	2.8				

○一人一人に目の行き届いたきめ細やかな学習指導を行っていくことが大切である。そのためにも，少人数指導を取り入れるなど，多くの教員で協力・連携して教育活動をすすめていきたい。(①～⑤)
○業前活動の「おはなし村」では，図書ボランティアの方による読み聞かせを楽しみにしている子どもたちが多い。図書館の利用も増えており，おすすめ本の紹介や調べ学習の時間の確保など，学校図書館司書との連携を高めることで，読書に対する興味・関心を高めていきたい。(③)
○「確かな学力の育成」では，タブレットを活用した授業やオンラインでの授業を通して，学ぶ意欲の向上について評価が上がっている。学校では，「お話タイム」などを通して，聞く・話すといったスキルの向上をめざしている。さらに，基礎基本の習得に向けて，「学び方を学ぶ」指導の充実を目ざしたい。(②④)
○今年度は，新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら，できるだけ教育活動を実施する方向で検討してきた。たてわり班活動も高学年を中心に，継続して楽しく展開することができた。子どもたちの生き生きとした姿が見られることが多かった。(⑥～⑦)
○子どもたちの自己評価では，昨年度と比べると評価が上がっている項目が多い。with コロナの生活も定着する中で，徐々に再開されるさまざまな活動を通して，目標のある生活が意欲の向上や自己肯定感の高まりにつながっているのではないか。(⑥～⑩)

４年生　「スクラム」を合言葉にして

４年生は「スクラム」を学年目標にして，いろいろな学習活動に取り組んできました。学習発表「未来へのステップ」では，これまでの１０年間を振り返り，ここまで育ててきてくれた家族への感謝の気持ちをもちました。家族への感謝の気持ちを手紙に記し，手紙を読む場面がとても印象的でした。学習発表を通して，将来の夢に向けて歩み始めました。１年間でさまざまな学習活動を経験し，仲間と協力して取り組むことで，一歩一歩確実に成長しました。４月からは，杉山小学校の高学年としてなにごとにも一致団結して取り組んでほしいです。

【未来への第一歩】

５年生　「障がい者をサポートできる人へ」STEP　UP!

５年生は総合的な学習で福祉について学びました。まず，地域にある老人福祉施設の方を元気づけようと，折り紙で作った作品を送る活動からスタートし，オンラインで交流して福祉施設への興味を深めました。視覚障がい者が常に危険と隣り合わせであることに驚いたり，車椅子で移動したりすることで，校内にたくさんのバリアがあることに気づくことができました。今回の学習で知った障がい者へのサポートの仕方を，実践できる人になってほしいと思います。

【車椅子を体験する子どもたち】

６年生　杉山に奏でた『六重奏（爽・騒・創・添・想・走）』

学年目標「六重奏」を掲げ，最高学年として立派に杉山小学校を引っぱっていくことができました。運営委員会を中心に，「爽」やかな挨拶を心がけました。修学旅行では「礼儀正しく気持ちよく」をテーマに仲間と「騒」ぎ，たくさんの思い出を作ることができました。たてわり遊びでは，低学年の子たちも楽しく参加できるようアイディアを「創」造し，寄り「添」うことができました。通学団登校をはじめ，いつも下級生のお手本となるように相手を大事に「想」う姿を見ることができました。卒業まで精一杯「走」り抜けてくれることを期待しています。

【リーダーとして，心も体も大きく成長】

○運営委員会を中心に，自主的な「あいさつ運動」をきっかけに学校内での挨拶の声が徐々に響くようになってきた。登下校でも，地域の方など誰にでも明るい挨拶ができるように家庭と連携して指導していきたい。また，基本的な生活習慣が身につくよう，杉山小の生活３原則「時を守り」「礼を正し」「場を清める」を教職員，児童ともに再確認したい。(⑧～⑩)
○タブレットを家庭に持ち帰ることが増えているが，ネットモラルに対する指導を充実させ，正しい利用の仕方が身につくようにしたい。(⑮～⑯)

※今後さらに「信頼される学校」を築いていく必要がある。そのためにも，すべての教職員が共通理解をもって同一歩調で子どもたちの成長を支援していくことが最重要課題である。